

第1学年

学習のてびき

令和5年度

尾鷲市立尾鷲中学校

「学習のてびき」には、必修教科9教科について、次の内容が書かれています。

- ☆ 学習目標
- ☆ 授業や家庭学習への取り組みかたと学習上の注意事項
- ☆ 年間の学習内容
- ☆ 評価観点および評価方法など

生徒のみなさんは、この「学習のてびき」をよく読み、
学習の道しるべとして、見通しを持った取り組みを行ってください。
これまで以上に、確かな学力を身につけることができます。

また、保護者の方も、この「学習のてびき」をよくご覧いただき、
どのような内容の学習が行われているかご理解ください。
お子さまへの、学習アドバイスの参考資料として、
ご活用いただきたいと思います。



第1学年 国語の手引き

1. 学習目標

- [知識・技能] 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができる。
- [思考・判断・表現] 社会生活における人とのかかわりの中で伝え合うことを通して、自分の思いや考えを広げ、深める。
- [主体的に学習に取り組み態度] 言葉が持つ価値を認識し、言葉を適切に使おうとすることや粘り強く考え、問題解決の過程を振り返り、評価・改善しようとする。

2 評価の観点及び評価の方法

観 点	内 容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉のきまりを理解し、漢字や語句などを正しく使うことができる。 ・文章の筋道や構成をとらえ正確に読み、内容を理解することができる。 	発表、話す姿勢、聞く姿勢、聞き取りテスト、漢字テスト、定期テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをまとめて話し、相手の話をしっかり聞くことができる。 ・相手の話を理解し、互いの立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合うことができる。 ・自分の立場や伝えたい事実や事情を明確にして、文章の構成を工夫し、まとめることができる。 ・抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むことができる。 	発表、音読、話す姿勢、聞く姿勢、聞き取りテスト、漢字テスト、定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に国語学習に参加することができる。 ・自分の考えをまとめ、相手の考えを聞いて、参考にしたり、考えを変えたりすることができる。 	授業中の態度・課題へのとりくみ、発表、ワーク、提出物、小テスト

2 年間計画

※書写の指導に配当する授業時間は、年間20時間程度とします。(書き方の指導、ノート指導含む)

月	単元名	主な学習内容	主な学習目標
4	読む 第1単元 言葉を楽しむ	風の五線譜 話し方はどうかな 音声の働きや仕組み 詩の心—発見の喜び	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の意味を捉え、読み方を工夫して音読する。 ・相手にとって聞き取りやすいように注意して話す。 ・文章の内容を捉え、話し方について考える。 ・音声の働きや仕組みについて理解する。 ・詩に描かれた風景や思いを想像し、詩を音読して読み味わう。 ・詩を鑑賞し、表現の工夫などについて考える。

5	文法	描写や表現技法を用いる 小さな発見を詩にしよう	・表現技法を理解し、具体的な描写を取り入れて表現を練りあげる。 ・言葉を選び、表現を工夫して、詩を仕上げる。
	言葉	文法とは・言葉の単位一切り方変われば意味変わる	・言葉の単位について理解する。
	第2單元 思いを捉える	活字と書き文字・画数・筆順	・活字と書き文字の違い、画数、筆順について理解し、漢字を文や文章の中で使う。
		飛べ かもめ	・人物や情景を描いた表現に注意して、作品を読み味わう。 ・作品から読み取ったことをもとに、想像したことをまとめる。
		文脈を捉え、伏線に気づく	・場面の展開や登場人物などの描写に注意して、文脈を捉え、伏線に気づく。
6	話し・聞く	さんきち	・人物や情景を描いた表現に注意して、作品を読み味わう。 ・作品から読み取ったことをもとに、想像したことをまとめる。
		相手の話を受け止め、引き出す	・相手の話を引き出すための質問の仕方を理解し、質問しながら話の内容を捉える。
	話し・聞く	話を聞いて質問しよう	・メモを取ったり、質問したりしながら、話の内容を捉え、考えをまとめる。
	言葉	接続する語句・指示する語句―無重力空間を楽しもう	・接続する語句と指示する語句の役割について理解する。
	第3單元 分かりやすく伝える	オオカミを見る目	・段落の役割や段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。 ・文章の書き方の工夫について考える。
7	文法	調べて分かったことを伝えよう―「食文化」のレポート	・ふだんの生活の中からテーマを決め、調べて分かったことを整理する。 ・調べて分かった事実や自分の考えがよく伝わるように、分かりやすい構成でレポートを書く。
		文の成分・連文節―文節をつなぐ見えない糸	・文の成分や、連文節、文節どうしの関係について理解する。
	言葉	音読み・訓読み	・漢字の音読みと訓読みについて理解し、漢字を文や文章の中で使う。
9		碑	・さまざまな本や資料で調べ、知識を広げたり考えを深めたりする。

1 0	第4単元 考えをまとめる	事実と考えを区別する	<ul style="list-style-type: none"> ・事実と考え, 推測と意見の違いを理解し, それらを区別して文章の内容を捉える。 ・事実から筆者がどのように考えを導いているかを捉える。 ・必要な情報を取り出して要約する。 	
		私のタンポポ研究		
		根拠を挙げて考えを述べる	<ul style="list-style-type: none"> ・考えと根拠との関係を理解し, 根拠を明確にして文章を書く。 	
		根拠を明確にして書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・説得力のある根拠を考え, 根拠を明確に示して自分の意見を書く。 ・根拠の明確さなどについて, 読み手からの助言を踏まえ, 自分の意見文のよい点や改善点を見いだす。 	
		中心を明確にして話そう	<ul style="list-style-type: none"> ・話の中心を明確にし, 事実と考えとの関係に注意して, 構成を考える。 ・聞き手の反応を見ながら, 分かりやすい話し方を工夫する。 	
	言葉	方言と共通語—全国のグルメ祭りに行こう	<ul style="list-style-type: none"> ・方言と共通語の果たす役割について理解する。 	
		漢字の部首	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の部首とその意味について理解し, 漢字を文や文章の中で使う。 	
		月夜の浜辺	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の中の言葉から情景や心情を捉え, リズムを感じ取りながら朗読する。 	
		第5単元 伝統文化に親しむ	移り行く浦島太郎の物語	<ul style="list-style-type: none"> ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知る。
			伊曾保物語	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いに注意して音読し, 古文の読み方に慣れる。 ・文章の構成などの特徴について考える。
		竹取物語	<ul style="list-style-type: none"> ・現代語とは異なる言葉や表現に注意して音読し, 古典の世界に触れる。 ・古典の作品に描かれた人間の心のありようについて考える。 	
1 1		矛盾	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文特有のリズムを味わい, 訓読に必要な決まりを知る。 ・故事成語について調べ, 体験や出来事を文章にまとめる。 	
	言葉	案内や報告の文章を書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える相手や目的に応じて, 必要な情報を選び出してまとめる。 	
		語の意味と文脈・多義語—幻のキノコを「とり」に行こう	<ul style="list-style-type: none"> ・語のさまざまな意味や, 文脈の働き, 多義語について理解する。 	
		単語の分類—単語分類マシンを完成させよう	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の類別について理解する。 	

1 2	第6単元 作品を読み解く	少年の日の思い出	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな場面での人物や情景の描写に着目して、作品を読み深める。 ・作品の構成の工夫や表現の効果について考える。
	文法 言葉	視点を変えて心情を描こう	<ul style="list-style-type: none"> ・視点を決め、人物の心情などを描き出すため、ふさわしい言葉を選んで文章を練りあげる。
		名詞―「名前」はいろいろ	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞の種類について理解する。
		他教科で学ぶ漢字	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。
		風を受けて走れ	<ul style="list-style-type: none"> ・読んだ本を紹介し合い、知識を広げたり考えを深めたりする。
1	第7単元 表現を考える	ニュースの味方を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み、ニュースを比べて、ニュースの見方について自分の考えを持つ。 ・意図に応じて材料を選び、ニュースを編集する。
書く		話し合いで理解を深めよう	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの体験や考えを出し合って整理する。 ・話し合いの展開に注意し、お互いの発言を結び付けて、考えをまとめる。
		心に残る出来事を表現しよう―日常生活から生まれる随筆	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中から題材を決め、伝えたい出来事と思いを明確にする。 ・出来事と思いがよく伝わるように、表現を工夫して随筆を書く。
2	文法	連体詞・副詞・接続詞・感動詞―「桃太郎」を修復せよ	<ul style="list-style-type: none"> ・連体詞・副詞・接続詞・感動詞の種類や働きについて理解する。
3		漢字の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の成り立ちについて理解し、漢字を文や文章の中で使う。
		わたしの中にも	<ul style="list-style-type: none"> ・詩に描かれた情景や心情を的確に捉える。 ・詩を読んで理解したことをもとに、考えを深める。
		トロッコ	<ul style="list-style-type: none"> ・文学作品を読み、情景描写などの表現の効果について考える。

尾鷲市立尾鷲中学校 第1学年 社会科地理・歴史学習のてびき

1. 教科の目標

【知識及び技能】

- ①地理：我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ②歴史：我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力・判断力・表現力等】

- ①地理：地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ②歴史：歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

- ①地理：日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。
- ②歴史：歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

2. 評価の観点と内容

	観点	内容	評価方法
1	知識・技能	<p>・我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p>	定期テスト、ワークシートへの取り組み、授業中の発言、課題への取り組み等
2	思考・判断・表現	<p>・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</p> <p>・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</p>	定期テスト、授業中の発言、ワークシートへの取り組み、授業で説明、論述・レポート作成等
3	主体的に学習に取り組む態度	<p>・日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>・歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	ワークシートへの取り組み方において、自らの学習方法を調整しようとしているか。また、課題に対して粘り強く取り組もうとしているかを授業中に評価していく。

3. 学習の方法

○授業を大切にす

- ・授業の準備物を忘れない、忘れたときは、事前に言う。
- ・板書や気づいたことをプリントに記録する。
- ・まずは自分で考えて理解する意識を持つ。
- ・教師や友だちの発言をしっかりと聞く。
- ・わからないところは、まわりの友だち・教師に聞く。

- ・わからない問題でもあきらめず、粘り強く取り組む。また、取り組み方や考え方を変えてみる姿勢も大事にする。

○家庭学習について

- ・授業でやった内容をワーク（社会の自主学習）で振り返る。教科書やプリントを見ながらやるとよい。
- ・毎日コツコツ復習する。
- ・定期テスト前は早めにワークを終わらせ、3回は解きなおしができるように計画的にやっていく。
- ・提出物は期限を絶対に守る。

4. 評価について

- ・あきらめず粘り強く取り組む姿勢を評価する。
- ・自分の考え方や取り組み方を調整しようとしているかを評価する。
- ・ワークシートから到達度を評価する。
- ・観点別テストの実施により評価をする。

5. 年間計画

時期	単元名	主な学習内容	どのような力をつけるか（学習目標）
1 学 期	4 月 〔地理的分野〕 第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 ・私たちの住む地球を眺めて ・いろいろな国の国名と位置 ・緯度と経度 ・地球儀と世界地図の違い	・さまざまな視点から衛星写真を見て、世界や日本の姿を大観する。 ・国名や面積、形、人口、国旗などに着目し、世界の国々を大観する。 ・緯度や経度のしくみや使い方、地図帳のさくいんの引き方を理解し、活用する。 ・地球儀と世界地図の構造を調べ、その違いや特色を理解するとともに、地球儀上で距離と方位を測る方法を身につける。	・六大陸三大洋、六つの州の位置や名前、分布を理解しているとともに、地球儀や世界地図を使って六大陸や三大洋、六つの州の位置を示すことができる。（知・技） ・大陸や海の分布や位置関係を地球儀や世界地図から考えて表現できるとともに、アジア州の中での日本の位置関係を考えて表現できる。（思・判・表） ・さまざまな国の面積、形、人口、国旗などを理解するとともに、学習した国を白地図などを活用して主体的に整理しまとめている。（知・技） ・さまざまな国の面積、形、人口、国旗などに着目して、世界の地域構成を多面的・多角的に考察している。（思・判・表） ・緯度や経度のしくみや使い方、地図帳のさくいんの引き方を理解するとともに、さくいんを使って日本や世界の都市の場所を調べまとめている。（知・技） ・緯度や経度のしくみに着目して世界の地域構成を多面的・多角的に考察している。（思・判・表） ・世界地図の種類ごとに、その長所や短所を理解するとともに、地球儀を使って二点間の距離

第2章 日本の姿

- ・世界の中での日本の位置
- ・時差でとらえる日本の位置
- ・日本の領域とその特色
- ・都道府県と県庁所在地

- ・地球儀や世界地図を活用しながら、さまざまな方法で日本の位置を示す。
- ・時差のしくみを理解し、日本とおもな国々（都市）の時差による違いや配慮などを考える。
- ・領域のしくみや日本の領域の特色を理解し、日本がかかえる領土問題について主体的に考える。
- ・都道府県や県庁所在地の名称が決まった経緯を理解する。

- と方位を調べることができる。(知・技)
- ・地球儀と世界地図とに違いが生じる理由や世界地図の不正確な点や活用法などについて多面的・多角的に考察している。(思・判・表)
- ・緯度や経度を使った日本の位置を理解するとともに、さまざまな地図を活用して、世界からみた日本の位置を読み取ったり、示したりすることができる。(知・技)
- ・地球儀や世界地図を活用しながら、日本の位置の示し方を多面的・多角的に考察している。(思・判・表)
- ・時差のしくみや等時帯の使い方を理解し、世界の等時帯を示した地図を活用して、さまざまな国や都市の時間を読み取ることができる。(知・技)
- ・日本とおもな国々（都市）の時差による違いや配慮などを多面的・多角的に考察する。(思・判・表)
- ・領域のしくみや日本の領域の特色、日本が抱える領土問題について理解するとともに、さまざまな資料から我が国が抱える領土問題の経緯や我が国及び各国の主張を調べまとめている。(知・技)
- ・北方領土や竹島、尖閣諸島についての経緯や課題などを多面的・多角的に考察している。(思・判・表)
- ・都道府県や県庁所在地の名称が決まった経緯を理解するとともに、都道府県名と県庁所在地名との関係をもとに調べまとめることができる。(知・技)
- ・自分が知っている都道府県の位置や区分を多面的・多角的に考察することができる。(思・判・表)

5 第2部世界のさまざまな地域
月 第1章 人々の生活と環境

- ・世界のさまざまな生活と環境
- ・暑い地域の暮らし
- ・乾燥した地域の暮らし
- ・温暖な地域の暮らし
- ・寒い地域の暮らし
- ・高地の暮らし
- ・世界各地の衣食住とその変化
- ・人々の生活と宗教の関わり

- ・世界各地の市場の写真からその地域の気候の特色や人々の生活のようすを大まかに読み取る。
- ・インドネシアの人々の生活のようすから、暑い地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。
- ・アラビア半島の人々の生活のよう

- ・雨温図を活用して世界の気候区分とその特色を調べてまとめ、その結果を理解している。(知・技)
- ・景観写真から得られた情報をもとにその地域の地域的特色を多面的・多角的に考察している。(思・判・表)
- ・雨温図や景観写真からインドネシアの気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、インドネ

		<p>すから、乾燥した地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペインの人々の生活のようすから、地中海性気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。 ・シベリアの人々の生活のようすから、寒い地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。 ・アンデス山脈の人々の生活のようすから、高地の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。 ・世界各地の衣食住の特色や変化、人々の生活との関係について理解する。 ・世界各地の宗教と人々の生活とのかかわりについて理解する。 	<p>シアの気候や暑い地域での人々の生活の特色について理解している。(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光を目的とした開発が進む中で人々の生活の変化や新たな課題について多面的・多角的に考察している。(思・判・表) ・雨温図や景観写真からアラビア半島の気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、アラビア半島の気候や乾燥した地域での人々の生活の特色について理解している。(知・技) ・水を得るための開発による生活の変化や、新たな課題について、多面的・多角的に考察している。(思・判・表) ・雨温図や景観写真からスペインでの人々の生活の特色を適切に読み取り、スペインの気候や温暖な地域での人々の生活の特色について理解している。(知・技) ・シエスタなどの伝統的な生活の変化や、伝統と現代の生活文化の共存について、多面的・多角的に考察している。(思・判・表) ・雨温図や景観写真からシベリアの気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、シベリアの気候や寒い地域での人々の生活の特色について理解している。(知・技) ・外国文化の流入による生活の変化について、多面的・多角的に考察している。(思・判・表) ・雨温図や景観写真からアンデス山脈の気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、アンデス山脈の気候や高地での人々の生活の特色について理解している。(知・技) ・現代化と観光化による人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察している。(思・判・表) ・景観写真や資料図などから世界各地の衣食住の特色を読み取り、世界の地域ごとに衣食住の特色を理解している。(知・技) ・世界各地でみられる伝統的な生活様式の変化について多面的・多角的に考察している。(思・判・表) ・景観写真からそれぞれの宗教の祈りや習慣の特色を読み取り、世界のさまざまな宗教の特色について理解している。(知・技) ・世界各地の宗教とその地域の生活の特色との関連性を多面的・多角的に考察している。(思・
--	--	--	--

<p>6月</p>	<p>第2章 世界の諸地域</p> <p>第1節 アジア州</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア州の自然環境 ・アジア州の農業・文化と経済発展 ・経済成長を急速に遂げた中国 ・最も近い隣国、韓国 ・経済発展を目指す東南アジア ・産業発展と人口増加が急速に進む南アジア ・資源が豊富な中央アジア・西アジア 	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア州を地域区分し、地形や気候を中心に、国々や自然などの基本的な特色を理解する。 ・アジア州の農業について、モンスーンの影響や降水量の違いに着目してその特色を理解するとともに、人口が集中する沿岸部では都市化が進んでいることを理解する。 ・中国の急速な経済発展や生活の変化を工業化と関連付けて理解するとともに、急速な経済発展によっておこる課題について考える。 ・文化や工業の特色、首都一極集中による地域の課題などについて理解し、日本との関わりについて考える。 ・外国とのかかわりの中で進んできた東南アジアの工業化の実態について理解する。 ・南アジアの文化や産業の発展について、人口増加と関連させながら理解する。 ・西アジアや中央アジアの経済成長について資源開発と関連させながら理解する。 	<p>判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア州を地域区分し、自然環境に関するそれぞれの特色を理解するとともに、雨温図や景観写真などから雨季と乾季の違いやそれぞれの特色を調べまとめることができる。(知・技) ・雨季と乾季の違いや人口分布の違いなどについてモンスーンの影響と関連付けながら多面的・多角的に考察し表現することができる。(思・判・表) ・アジア州における農業分布や宗教分布の特色を理解するとともに、降水量や農業分布、宗教別人口などの資料を活用して、地域の特色との関連性について調べ、まとめることができる。(知・技) ・年間降水量の違いと農業分布との違いを関連付けてその特色を考察するとともに、人口集中と経済発展とを関連づけてその特色を考察することができる。(思・判・表) ・中国の急速な経済発展や地域の変化についてその特色を理解するとともに、さまざまな資料を活用して中国の急速な経済発展と地域の変化との関連について調べまとめることができる。(知・技) ・急速な経済発展にともなって進行する経済格差や環境問題などの課題について多面的・多角的に考察し、表現している。(思・判・表) ・文化や工業の特色について理解しているとともに、輸出の変化や一極集中による課題について調べまとめている。(知・技) ・韓国の生活・文化や社会と産業の変化について、韓国と日本との関わりに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現することができる。(思・判・表) ・東南アジアの工業化の実態について理解するとともに、新旧の統計資料を比較して外国企業の進出増加や輸出品目の高度化について調べまとめている。(知・技) ・外国企業の進出増加や輸出品目の高度化と経済発展との関連性について他地域との結びつきに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現することができる。(思・判・表) ・南アジアの文化や産業の発展を経済発展と関
-----------	---	--	--

第2節 ヨーロッパ州

- ・ヨーロッパ州の自然環境
- ・ヨーロッパ文化の共通性と多様性
- ・EUの成り立ちとその影響
- ・ヨーロッパの農業とEUの影響
- ・ヨーロッパの工業とEUの影響
- ・EUが抱える課題

- ・地形や気候を中心に、ヨーロッパ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。
- ・位置や分布に着目しながら、ヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性を理解する。
- ・ヨーロッパ州の国境をこえた結び付きに着目しながら、人々の生活にどのような変化が見られたのかを考える。
- ・ヨーロッパ州の農業における地域的特色とEU統合による変化や課題を考える。
- ・ヨーロッパ州の工業における地域的特色とEU統合による変化や課題を考える。
- ・EU域内での経済格差に着目して、EUで発生している課題やこれからのEUのあり方について考える。

- 連付けて理解し、その特色を調べまとめている。(知・技)
- ・インドでICT関連産業が急速に発達した理由や貧困層に関する課題を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。(思・判・表)
- ・西アジアや中央アジアの経済成長について理解するとともに、資源生産や輸出の特色や変化について調べまとめている。(知・技)
- ・他地域との結びつきに着目して原油の生産や輸出が南アジアや中央アジアの発展に与える影響について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。(思・判・表)
- ・地図や気温図を活用して、ヨーロッパ州の地形や気候の特色を調べ、まとめている。(知・技)
- ・地球上におけるヨーロッパの位置に着目しヨーロッパの気候が温暖である理由について多面的・多角的に考察し、表現することができる。(思・判・表)
- ・位置や分布に着目しながら、ヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性を調べまとめている。(知・技)
- ・位置や分布に着目しながらヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性について多面的・多角的に考察し、表現することができる。(思・判・表)
- ・ヨーロッパ州の地形や歴史に着目しながら、その特色を調べまとめている。(知・技)
- ・ヨーロッパ州の国境をこえた結び付きに着目しながら、人々の生活にどのような変化が見られたのかを多面的・多角的に考察し、表現することができる。(思・判・表)
- ・緯度や気候に着目して、ヨーロッパ州の農業の特色を調べまとめている。(知・技)
- ・EU統合が与えた農業の変化やEUの農業政策の実態と課題について多面的・多角的に考察し、表現することができる。(思・判・表)
- ・資源の分布や工業地域の立地に着目して、ヨーロッパ州の工業の特色を調べまとめている。(知・技)
- ・EU統合がもたらした利点や変化、課題について多面的・多角的に考察し、表現することが

	7月	<p>第3節 アフリカ州</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ州の自然環境 ・アフリカの歴史と文化 ・特定の輸出品に頼るアフリカの経済 ・アフリカが抱える課題とその取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤道をはさんで南北に広がる広大な範囲を概観し、地形や気候を中心に、アフリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。 ・アフリカの文化の特色や変化について、歴史的背景やヨーロッパとのつながりに着目しながら理解する。 ・アフリカの産業の実態や課題について、その変化に着目しながら理解する。 ・アフリカ各国が抱えている問題を理解し、そこからの脱却について考える。 	<p>できる。(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EU 域内での経済格差に着目して、EU で発生している課題を調べ、まとめている。(知・技) ・EU 域内での経済格差に着目しながらそれぞれの立場の主張を考えさせるとともに、課題を乗り越えた新しいEUのあり方について多面的・多角的に考察し、表現することができる。(思・判・表) <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ州の地形や気候の特色を理解するとともに、地図や雨温図を活用して、アフリカ州の地形や気候の特色を調べまとめている。(知・技) ・アフリカ州の気候や地形の特色を、赤道を中心に整理し、サヘルの砂漠化について地域に着目しながら多面的多角的に考察し、課題の可決に向けて選択・判断することができる。(思・判・表) ・アフリカ州の文化と歴史について理解するとともに、さまざまな資料を活用してヨーロッパとのつながりの歴史や今もなおつながりが深いことによる地域への影響について多面的・多角的に考察することができる。(知・技) ・アフリカ連合(AU)の発足によるアフリカ諸国の人々の生活の変化や課題について多面的・多角的に考察している。(思・判・表) ・アフリカの産業の実態やモノカルチャー経済について理解するとともに、アフリカ諸国におけるおもな輸出品の変化のグラフなどからアフリカ諸国の変化と努力について調べまとめている。(知・技) ・フェアトレードの取り組みに着目し、モノカルチャー経済からの脱却について多面的・多角的に考察し解決策を思考している。(思・判・表) ・自国の取り組みや他国からの支援の実態を理解するとともに、さまざまな資料からアフリカ州が抱えている問題を調べまとめている。(知・技) ・自国の取り組みや他国からの支援に着目しながらアフリカ州が自立するための方策を多面的・多角的に考察している。(思・判・表)
--	----	--	--	---

第4節 北アメリカ州

- ・北アメリカ州の自然環境
- ・移民の歴史と多様な民族構成
- ・大規模な農業と多様な農産物
- ・世界をリードする工業
- ・アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題

- ・地形や気候を中心に、北アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。
- ・北アメリカ州の民族構成や地域分布、多様な文化について理解する。北アメリカ州の農業の特色について、世界の食料事情と関連させながら理解する。
- ・アメリカ合衆国の工業の発展と世界への影響について理解する。
- ・アメリカ合衆国の人々の生活や文化の特色を理解し、世界への影響や課題を考える。

- ・北アメリカ州の自然環境の特色を理解するとともに、地図や雨温図を活用して、北アメリカ大陸の自然環境の特色を東西に分けて調べまとめている。(知・技)
- ・西経100度線に着目して北アメリカ州を東西に分けてそれぞれの気候や地形の特色を多面的・多角的に考察している。(思・判・表)
- ・北アメリカ州の民族構成や地域分布、多様な文化について理解するとともに、さまざまな資料からアメリカ合衆国の移民や開拓の歴史、民族構成の特色について調べまとめている。(知・技)
- ・移民の歴史に着目しながらアメリカ合衆国の民族の特色や地域に与える影響について多面的・多角的に考察している。(思・判・表)
- ・大規模農業や適地適作などの北アメリカ州の農業の特色について理解するとともに、北アメリカ州の自然環境に合わせた適地適作が進む農業地域の分布や特色について調べまとめている。(知・技)
- ・巨大企業による生産・輸出の形態や北アメリカ州の農業が世界の農業に与える影響の大きさや課題について多面的・多角的に考察している。大規模農業や適地適作などの北アメリカ州の農業の特色や課題について主体的に追究、解決しようとしている。(思・判・表)
- ・アメリカ合衆国の工業の特色を、重工業から先端技術産業への変化に着目して理解するとともに、鋳工業の分布図を活用してアメリカ合衆国の工業の特色を五大湖周辺、太平洋沿岸、南部地域に分けて調べまとめている。(知・技)
- ・先端技術産業の躍進などを事例にしながら、アメリカ合衆国が世界に与えるこれからの影響や課題について多面的・多角的に考察している。(思・判・表)
- ・アメリカ合衆国のこれまでの大量生産大量消費によるの生活や文化の特色を理解するとともに、野球場や大型ショッピングセンターの駐車場の写真から、アメリカ合衆国における車社会化の発展について調べまとめることができる。(知・技)
- ・大型ショッピングセンターや大手ハンバーガ

2 学 期	9 月	<p>第5節 南アメリカ州</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アメリカ州の自然環境 ・多様な民族・文化と人々の生活 ・大規模化する農業と成長する工業 ・ブラジルにみる開発と環境保全 <p>第6節 オセアニア州</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オセアニア州の自然環境 ・移民の歴史と多文化社会への歩み ・他地域と結び付いて発展する 	<ul style="list-style-type: none"> ・地形や気候を中心に、南アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。 ・南アメリカの文化の特色をその国々の歴史的背景に着目しながら理解する。 ・南アメリカ州の農業や工業の発展の特色について、開発に着目しながら理解する。 ・アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発が地域の環境や人々の生活に与えた影響について理解し、より良い地域の在り方について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・地形や気候を中心に、オセアニア州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。 ・オーストラリアにおけるヨーロッ 	<p>一チェーンを事例として世界中に広がる文化とその影響やこれまでの大量生産大量消費の在り方を見直し、持続可能な社会を実現するための方策について多面的・多角的に考察することができる。(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アメリカ州の自然環境の特色について理解するとともに、地図を活用して、平原や草原、山脈や高原の分布を読み取りまとめている。(知・技) ・南アメリカ州の気候の違いを、標高や緯度の違いと関連付けて多面的・多角的に考察している。(思・判・表) ・南アメリカの多様な民族と人々の生活について理解するとともに、さまざまな資料を活用して先住民の暮らしの変化についてその実態を調べまとめている。(知・技) ・南アメリカ州の文化の成り立ちをスペインやポルトガルに進出と植民地時代の歴史の影響と関連付けながら考察するとともに、その変化や課題について多面的・多角的に考察している。(思・判・表) ・南アメリカ州の農業や工業の発展の特色について理解するとともに、ブラジルなどを例にして農業開発や資源開発によって南アメリカの国々がモノカルチャー経済から脱却し発展したことを調べまとめている。(知・技) ・農業開発や工業開発が南アメリカの経済発展に与えた影響や産業の発展に伴う課題について多面的・多角的に考察している。(思・判・表) ・アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発が地域の環境や人々の生活に与えた影響について理解し、環境保全をめぐる新たな課題について調べまとめている。(知・技) ・開発と環境保全との持続発展的な両立や環境保全をめぐる新たな課題について多面的・多角的に考察している。(思・判・表) <ul style="list-style-type: none"> ・オセアニア州の自然環境について理解するとともに、地図や雨温図などを活用して自然環境の特色をオーストラリア大陸と、ミクロネシア、ポリネシア、メラネシアの4地域に分けて
-------------	--------	---	--	---

産業

パの影響と多文化社会への転換について理解する。

・オーストラリアやニュージーランドを中心としたオセアニアの産業の特色を理解する。

まとめている。(知・技)

・オーストラリア大陸の都市や人口の分布の特色を地形や気候の特色と関連付けて多面的・多角的に考察しているとともに、ツバルの海面上昇の問題やその解決について多面的・多角的に考察している。(思・判・表)

・オーストラリアにおけるヨーロッパの影響と多文化社会への転換について理解するとともに、さまざまな景観写真からオセアニアの生活や文化に対するイギリスの影響を読み取りまとめている。(知・技)

・オーストラリアが白豪主義から多文化社会へと転換した背景と理由及び多文化社会への転換に関する課題について多面的・多角的に考察している。(思・判・表)

・オーストラリアやニュージーランドを中心としたオセアニアの産業の特色について理解し、さまざまな分布図からオーストラリア大陸の各地で工業や農業がさかんであるところを調べまとめている。(知・技)

・オーストラリアの輸出品の変化からオーストラリアの産業の変化や発展をアジアとの結びつきに着目して多面的・多角的に考察している。(思・判・表)

〔歴史的分野〕

第1編 私たちの歴史

10月

・小学校で学習した歴史上の人物について、活躍した分野を政治、文化のいずれかに分類しながら、学習内容を思い出す。

・歴史を大きく変えた人物を選び、その人物を選んだ理由を考え、表現する。

・西暦の成り立ち、紀元前と紀元後のちがい、世紀の意味を理解する。

・日本の時代区分が、何を基になされているのかを理解し、その意味や意義を考え、表現する。

・歴史を考察し、理解する手立てとして、「歴史的な見方・考え方」を身につける。

・「歴史的な見方・考え方」を働かせて、課題に対して主体的に追究しようとする態度を養う。

・小学校で学んだ主な人物を、政治分野で活躍した人物と文化分野で活躍した人物に区別して読み取っている。(知・技)

・「歴史を大きく変えた人物」を選んだ理由を説明し、その人物の歴史との関わりを考え、表現している。(思・判・表)

・西暦はイエスが生まれた年を基準にしていること、世紀は100年ごとをひとまとめたものであることを理解している。(知・技)

・時代区分の種類が、社会のしくみの特徴による分け方や、主に政治の中心地の名称による分け方など、複数あることを考え、表現している。(思・判・表)

・時系列・推移・比較・つながりの四つの視点や方法を理解し、「歴史的な見方・考え方」を身につけている。(知・技)

第2編 古代までの日本と世界

1節 人類の始まりと文明

- ・人類の出現
- ・古代文明の誕生
- ・中国の文明と東アジア世界
- ・ギリシャ・ローマの文明
- ・文明と宗教

- ・類人猿と猿人の比較を通して、当時のようすをイメージし、人類の祖先のくらしについて主体的に考える態度を養う。
- ・資料の読み取りなどを通して、人類の誕生とその広まり、古代までの日本と世界の動きについて理解する。
- ・人類の進化の過程をつかみ、各段階の人類の特徴を理解する。
- ・気候の変動と関連づけて、狩猟・採集から農耕・牧畜へと生活が変化するようすを考え、表現する。
- ・古代文明がおこった場所の共通点を理解する。
- ・古代文明のおこりを、文字・建築物などに注目して考え、表現する。
- ・中国文明のおこりを考え、殷から漢に至る各時代の特徴を理解する。
- ・万里の長城が築かれた背景や漢の時代に東西文化の交流によっておこった変化を考え、表現する。
- ・古代ギリシャ社会の発展の背景にあるものを考え、表現する。
- ・イタリア半島の都市国家であったローマが、共和政から帝政へと変わり、地中海を取り巻く大帝国に発展していったことを理解する。
- ・仏教・キリスト教・イスラム教がおこった地域が、それぞれインド、西アジアなどの文明がおこった地域と重なることを考え、表現する。
- ・現代の世界に大きな影響をあたえている宗教が、どのようにしておこったのかについて理解する。

- ・地図や年表から人類が誕生した時代や地域、その後の広まり、古代までの日本と世界の動きを理解している。(知・技)
- ・人類が猿人、原人、旧人、新人へと進化してきた過程をつかみ、それぞれの段階の特徴を理解している。(知・技)
- ・人類のくらしについて、新石器時代の気候の温暖化と関連づけて、採集・狩猟生活から農耕・牧畜生活へ変化したことを考え、表現している。(思・判・表)
- ・メソポタミア文明、エジプト文明、インダス文明などがいずれも農耕・牧畜が発展しやすい大河の流域でおこったことを理解している。(知・技)
- ・それぞれの古代文明に文字の使用や都市の建設がみられたことなど、共通する特徴を考え、表現している。(思・判・表)
- 各時代の特徴について、国家が領土や支配地を治めるために整えたくみの変化をとらえて理解している。(知・技)
- ・万里の長城が国を守るために築かれたことや、シルクロードが開かれたことで各地の文物が運ばれ、その文化が周辺の国々へ影響をあたえたことを考え、表現している。(思・判・表)
- ・古代ギリシャの都市国家であるアテネで民主政治が行われ、社会が安定し、演劇や哲学などの文化が発展したことを考え、表現している。(思・判・表)
- ・共和政をとっていたローマが、紀元前1世紀末には帝政に変わり、地中海を取り巻く大帝国となったことを理解している。(知・技)
- ・古代文明と主な宗教がおこった場所を示した地図から情報を取り出し、文明がおこった地域で宗教もおこっている共通点を考え、表現している。(思・判・表)
- ・三大宗教について、おこった地域や広まっていく過程に着目して、宗祖・教え・年代などを理解している。(知・技)

11月

2節 日本列島の人々と国家の形成

- ・日本人のルーツと縄文時代
- ・稲作の広まりと弥生時代

- ・氷期に新人が日本列島に現れたことを理解する。
- ・縄文時代の人々は、大きな環境の変化に適応し、旧石器時代よりも豊

- ・資料から、旧石器時代や縄文時代のくらしの特色を理解している。(知・技)
- ・人々が、環境の変化に適応できたことに着目し、生活が豊かになったことを、過去の生活と

・ヤマト王権と渡来人
 ・東アジアの統一国家
 ・聖徳太子と飛鳥文化
 ・律令国家の成立

かな生活を営んだことを考え、表現する。

- ・渡来人がもたらした稲作などの生産技術の広がりによって、本格的な農耕社会が訪れたことを考え、表現する。
- ・遺跡や中国の歴史書などからムラやクニのようすを理解する。
- ・古墳の分布や大陸との関係を通してヤマト王権による日本の統一について理解する。
- ・渡来人の知識や技術がヤマト王権に果たした影響を考え、表現する。
- ・金井東裏遺跡に関する地理的な情報や他の出土物等の資料を基に、発見されたよろいを着た人物について考え、表現する。
- ・朝貢・冊封にみられる当時の国際秩序をとらえ、日本の国家形成についての理解をさらに深める。
- ・分裂していた中国に登場した統一国家とその制度について理解する。
- ・中国の統一国家の成立が、東アジア周辺国に果たした影響を考え、表現する。
- ・蘇我氏や聖徳太子は、東アジアの文物や制度を取り入れながら国家のしくみを整えていったことを理解する。
- ・蘇我氏や聖徳太子が定めた制度や進めた事業の特徴をとらえて、どのような国づくりをめざしたのかについて考え、表現する。
- ・東アジアの情勢から、大化の改新が必要であったことを考え、表現する。
- ・7～8世紀の日本において律令国家のしくみが整えられたことを理解する。

比較して考え、表現している。(思・判・表)

- ・稲作の普及や生産技術の発展が人々のくらしや社会に変化をもたらしたことを考え、表現している。(思・判・表)
- ・ムラ同士の争いからクニが誕生し、クニは中国王朝との通交を行って、皇帝の権威を利用したことを理解している。(知・技)
- ・古墳の築造や広がり、中国や朝鮮との積極的な関わりから、ヤマト王権の日本の統一を理解している。(知・技)
- ・ヤマト王権の日本の統一を、渡来人の知識や技術が果たした影響に着目して考え、表現している。(思・判・表)
- ・各資料から適切な情報を読み取り、総合することで当時のようすについて理解している。(知・技)
- ・よろいを着た人物はどのような人だったのか、資料を基に考え、表現している。(思・判・表)
- ・古代の日本が中国と朝貢・冊封関係をとっていたことを理解している。(知・技)
- ・アジアにおける国際的な秩序について、当時の中国の地位や国どうしの結びつきから考え、表現している。(思・判・表)
- ・統一国家をつくり上げた隋や唐の国のしくみについて、日本とのちがいをふまえて理解している。(知・技)
- ・当時の国際情勢から、日本が隋や唐から受けた影響について考え、表現している。(思・判・表)
- ・当時の政治や飛鳥文化についてまとめ、東アジアの文物や制度を取り入れながら国家のしくみが整えられたことを理解している。(知・技)
- ・蘇我氏や聖徳太子が定めた制度や進めた事業の共通性に着目して、そのような政治を行ったねらいについて考え、表現している。(思・判・表)
- ・東アジアの情勢の変化に着目して、唐に対応できる国づくりをめざして大化の改新がおこったことを考え、表現している。(思・判・表)
- ・大化の改新から天武天皇、持統天皇へと引き継がれて律令国家が確立されたことを理解し

	<p>12月</p>	<p>3節 古代国家の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良の都と人々の暮らし ・天平文化と聖武天皇 ・平安京と桓武天皇 ・摂関政治と国風文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・天皇を頂点として、皇族・貴族や役人たちが全国を支配する中央集権国家のしくみを理解する。 ・租調庸や兵役・労役が大きな負担となり、逃亡したり僧になったりするなど、税を逃れる人が現れたことを考え、表現する。 ・天平文化が仏教の広まりや遣唐使がもたらす唐の文化の影響を受けて成立したことを考え、表現する。 ・律令国家のしくみが整っていくことを背景に、『古事記』や『日本書紀』がまとめられたことを理解する。 ・桓武天皇が、平安京に都を移した理由について考え、表現する。 ・平安時代の仏教の特徴を理解する。 ・藤原氏の摂関政治を通して、律令政治が変化したことを理解する。 ・東アジアの変化を背景に、貴族が生み出した国風文化の特色を考え、表現する。 	<p>ている。(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大化の改新以前のような中国の律令制度との関係に着目して、天皇を頂点として、皇族・貴族や役人たちが全国を支配する中央集権国家のしくみを理解している。(知・技) ・租調庸を基軸とする税制度が、民衆にとって大きな負担となり逃亡をまねいたことを考え、表現している。(思・判・表) ・天平文化が、仏教を中心としたもので、西アジアや南アジアとつながる唐の影響を受けた国際色豊かな文化であることを考え、表現している。(思・判・表) ・記紀が律令国家の成立とともに、天皇の由来などを説明するためにまとめられたことを理解している。(知・技) ・桓武天皇が都を平城京から平安京に移した理由について、朝廷の貴族や僧侶の動きと天皇がめざす政治に着目して考え、表現している。(思・判・表) ・平安時代の仏教が都からはなれ、厳しい修行や学問を行うものであったこと、また浄土信仰が盛んになったことを理解している。(知・技) ・摂関政治が行われた時代に、天皇を頂点とした中央集権国家のしくみが変わっていったことを理解している。(知・技) ・東アジアの変化を背景に、貴族のあいだで日本の風土や暮らしにあった文化が生まれ、発展したことを考え、表現している。(思・判・表)
<p>3学期</p>	<p>1月</p>	<p>第3編 中世の日本と世界</p> <p>1節 古代から中世へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武士の登場 ・院政と平氏政権 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方や都での武士のおこりやその成長などについてまとめ、武士が大きな勢力をもつようになったことを理解する。 ・律令制のおとろえの中での武士の地位の高まりをとらえ、武士がどのように力をつけていったのかについて考え、表現する。 ・摂関政治との比較などを通して院政の特徴を理解するとともに、社会状況の変化により武士が政治に関与し始めたことを理解する。 ・武士である平氏が貴族的な側面を 	<ul style="list-style-type: none"> ・武士のおこりやその成長についてまとめ、武士が貴族に代わって大きな役割を担い、力をつけていったことを理解している。(知・技) ・律令制の解体に伴い、武士が都や地方に現れ、朝廷に代わって反乱をしずめるなどして、力をつけていったことを考え、表現している。(思・判・表) ・父方の上皇が実権をにぎるという院政の特徴や、荘園・公領の管理を行うようになった武士の政治的関与が進んだことを理解している。(知・技) ・平氏の政治が、日宋貿易を進める一方で、娘を天皇のきさきにするなど貴族的な側面をも

	<p>2節 鎌倉幕府の成立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の政治 ・鎌倉時代の人々の暮らし ・鎌倉時代の文化と仏教 ・元の襲来と鎌倉幕府 	<p>もって台頭したことをふまえ、どのような政治を行おうとしたかについて考え、表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の政治のしくみをとらえ、武士による政治の基盤がつけられたことを理解する。 ・鎌倉幕府における主従関係などの特徴をふまえ、政治にどのようなしくみや特徴があるのかについて考え、表現する。 ・鎌倉時代の農民が、武士や荘園領主とどのような関係にあったのかを理解する。 ・社会や人々の暮らしがどのように変化したかを、農業技術の進歩や商業の発達、貨幣経済の進展に着目して考え、表現する。 ・古代の文化との比較を通して、武家や公家のみならず民衆にも広まった鎌倉時代の文化の特徴について考え、表現する。 ・当時の社会情勢の変化を背景として、新しい仏教が武家や民衆に広がったことを理解する。 ・資料の読み取りなどを通して、モンゴル帝国が勢力を拡大したことや元の襲来への鎌倉幕府の対応について理解する。 ・国内の戦いとのちがいによる御家人の窮乏などの課題をふまえて、鎌倉幕府がおとろえた理由について考え、表現する。 	<p>つものであったことを考え、表現している。(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将軍と御家人との主従関係の確立や守護・地頭の設置による全国支配など、武士による政治の基盤がつけられたことを理解している。(知・技) ・鎌倉幕府の政治が、将軍と御家人の御恩と奉公の関係を基に成立していたことを考え、表現している。(思・判・表) ・鎌倉時代に武士が力を強める中で、農民は武士や荘園領主から二重支配を受けたことを理解している。(知・技) ・二毛作の広まりや定期市の開催、貨幣経済の進展などにより、社会や人々の暮らしが向上したことを考え、表現している。(思・判・表) ・古代の文化との比較から、鎌倉時代の文化が、武士や民衆にもわかりやすく、また武士の気風にあった文化であることを考え、表現している。(思・判・表) ・戦乱やききんなどの社会情勢から、人々のなやみにこたえる仏教の新しい動きがみられ、武家や民衆に広がったことを理解している。(知・技) ・東アジアの情勢の変化の中で元軍が日本に襲来したことや、それに対する幕府の対応を理解している。(知・技) ・国内の戦いとのちがいがもたらした元寇後の御家人の窮乏と、幕府の対応による主従関係のゆらぎをふまえて、鎌倉幕府がおとろえた理由について考え、表現している。(思・判・表)
2月	<p>3節 室町幕府と下剋上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南北朝の動乱と室町幕府 ・東アジアとの交流と琉球王国の成立 ・産業の発展と都市と村 ・応仁の乱と戦国大名 ・室町時代の文化とその広がり 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都で室町幕府が成立した過程について、南北朝の動乱を通して考え、表現する。 ・南北朝の動乱を通じて成長した守護大名について理解する。 ・14～15世紀の東アジアでどのような交流が行われていたのかについて考え、表現する。 ・中世の琉球の国際的な役割について 	<ul style="list-style-type: none"> ・足利尊氏が京都の北朝から征夷大将軍に任じられたことなどをふまえて、京都に室町幕府を開いたことを考え、表現している。(思・判・表) ・南北朝の動乱の時代を通じて、守護がしだいに権限をもつようになり、一国を支配する守護大名として成長したことを理解している。(知・技) ・それぞれの国や地域の輸出入の品目に着目して、日本と中国・朝鮮・琉球王国・アイヌなど

<p>3 月</p>	<p>1年生の学習のまとめ</p>	<p>て、琉球の文化にもふれながら理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業の発展により、室町時代の人々の生活や意識がどのように変化したのかを考え、表現する。 ・産業の発達に伴い、どのようにして民衆は力を強めたのかについて理解する。 ・応仁の乱によって世の中が乱れ民衆たちが自分たちの生活を守るために自治をすすめ、各地で一揆が起こったことを理解する。 ・下剋上の風潮の中で、新しい支配者と支配のしくみが生まれたことを考え、表現する。 ・室町時代の文化が、応仁の乱や民衆の成長を背景にしていることを理解する。 ・室町時代の文化の特徴について、武家と公家や中国との関係をふまえて考え、表現する。 	<p>との関わりについて考え、表現している。(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琉球が日本、明や朝鮮、東南アジア諸国との中継貿易に従事したことや、交易の中で独自の文化が育まれたことを理解している。(知・技) ・鎌倉時代とのちがいに着目し、室町時代の商業と手工業の発達が経済を活発にさせ、人々の生活が向上したことを考え、表現している。(思・判・表) ・産業の発達によって都市や村が発達して、村では惣とよばれる自治組織のもと、農民が団結を強めたことを理解している。(知・技) ・各地で自治を行う民衆が現れたことを、応仁の乱による幕府の勢力のおとろえと関連させて理解している。(知・技) ・下剋上の風潮の中で戦国大名が現れ、領国支配のため分国法を定めたり、城下町をつくったりしたことを考え、表現している。(思・判・表) ・応仁の乱により文化が地方へ広がったことや民衆文化の高まり、差別されていた人々も文化の担い手として活躍したことを理解している。(知・技) ・室町時代の文化について、武家と公家の文化が混ざり合ったものであることと、禅宗の影響も受けたものであることを考え、表現している。(思・判・表)
----------------	-------------------	--	--

尾鷲市立尾鷲中学校 第1学年 「数学科」学習のてびき

1. 教科の目標

【知識および技能】

数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力・判断力・表現力】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

2. 評価の観点と内容

	観 点	内 容	評価方法
1	知識及び技能	・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	定期テスト・ワークシートへの取り組み・授業中の発言・課題への取り組み等
2	思考力・判断力・表現力	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	定期テスト・授業中の発言・ワークシートへの取り組み・授業で説明・論述・レポート作成を行う
3	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。	ワークシートへの取り組み方において、自らの学習方法を調整しようとしているか。また、課題に対して粘り強く取り組もうとしているかを授業中に評価していく。

3. 学習の方法

○授業を大切にす

- ・ 授業の準備物を忘れない。忘れたときは、事前に言う。
- ・ 板書や気づいたことをプリントに記録する。
- ・ まずは自分で考えて理解する意識を持つ。
- ・ 教師や友達の発言をしっかり聞く。
- ・ わからないところは、まわりの友だち・教師に聞く。
- ・ わからない問題でもあきらめず、ねばり強く取り組む。また、取り組み方や考え方を変えてみる姿勢も大事にする。

○家庭学習について

- ・ 授業でやった内容をワーク(数学の問題ノート)で振り返る。プリントを見ながらやるとよい。
- ・ 毎日コツコツ復習する。
- ・ 定期テスト前は早めにワークを終わらせ、3回はできるように計画的にやっていく。
- ・ 提出物は期限を絶対に守る。

4. 評価について

- ・ あきらめず粘り強く取り組む姿勢を評価する。
- ・ 自分の考え方や取り組み方を調整しようとしているかを評価する。
- ・ ワークシートから到達度を評価する。
- ・ 観点別テストの実施により評価をする。

5. 年間計画

時期	単元名	主な学習内容	どのような力をつけるか(学習目標)	
1 学 期	4月 5月	1章 正負の数	<ul style="list-style-type: none"> ● 符号のついた数 ● 数の大小 ● 加法と減法の混じった計算 ● 乗法除法 ● 四則の混じった計算 ● 素因数分解 ● 正負の数の利用 	1. 正負の数の意味がわかり、符号(+、-)が正しく使える 2. 数直線・絶対値・数の大小についてわかる 3. 正負の数の加法・減法がわかり、その計算ができる 4. 正負の数の乗法・除法がわかり、その計算ができる 5. 累乗の計算規則がわかり、計算できる 6. 逆数についてわかり、それを使って分数の除法の計算ができる 7. 乗法と除法の混じった計算ができる 8. 四則の混じった計算順序を理解し、計算することができる 9. 素数の意味がわかり、素因数分解ができる 10. 身のまわりの問題を正負の数を使って解決することができる
	6月 7月	2章 文字と式 整数の性質	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字の使用 ● 文字を使った式の表し方 ● 代入と式の値 ● 文字式の計算 ● 1次式の計算 ● 関係を表す式 	1. いろいろな数量を文字を使って表すことができる 2. 文字使用の決まりに従って、式を表すことができる 3. 代入して式の値を求めることができる 4. 項・係数・同類項・次数の意味がわかる 5. 1次式の簡単な計算ができる 6. 分配の法則を使って1次式の計算ができる 7. いろいろな数量を文字を使って表現できる 8. 数量の関係や法則などを等式や不等式で表すことができる。また、等式や不等式の意味を読み取ることができる。
2 学 期	9月 10	3章 方程式	<ul style="list-style-type: none"> ● 方程式 	1. 等式の意味がわかり、数量間の関係を等式で表すことができる 2. 等式の性質が理解できる 3. 等式の性質を使って基本的な方程式を解くことができる

	月		<ul style="list-style-type: none"> ● 方程式の解き方 ● いろいろな方程式 ● 1次方程式の利用 ● 比例式 	<ol style="list-style-type: none"> 4. 方程式とその解の意味がわかる 5. 複雑な方程式(カッコ・小数・分数)を解くことができる 6. 方程式を使って文章問題を解くことができる 7. 比例式の意味がわかり、その性質を利用することができる
	11月 12月	4章 比例と反比例	<ul style="list-style-type: none"> ● 比例する量 ● 比例のグラフと式 ● 座標 ● 反比例のグラフと式 ● 比例と反比例の利用 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ともなって変わる二つの量の意味がわかり、式や対応表、グラフで表すことができる 2. 比例の関係を$y=ax$の式で表すことができる 3. 平面上の座標について理解できる 4. $y=ax$のグラフが書ける 5. 反比例の関係を$y=a/x$の式で表すことができる 6. $y=a/x$のグラフが書ける 7. 比例・反比例の式を用いて、具体的事象の問題を解くことができる
3 学 期	1月	5章 平面図形	<ul style="list-style-type: none"> ● 線対称と点対称 ● 対称な図形の性質 ● 円と対称 ● 作図のしかた ● いろいろな作図 ● 作図の利用 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 図形の基本的な語句や記号が理解できる 2. 線対称と点対称について理解できる 3. 円とおうぎ形について理解できる 4. 次の作図ができる ①垂直 ②垂直二等分線 ③角の二等分線 ④円の接線 5. ①～④を利用して作図の応用ができる 6. 点と直線の距離について理解できる 7. 平行移動や回転移動が理解できる
	2月	6章 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> ● 多面体 ● いろいろな立体 ● 直線や平面の平行と垂直 ● 面の動き ● 立体の投影図 ● 立体の展開図 ● 表面積 ● 体積 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多面体やいろいろな立体についてその特徴を理解できる 2. 直線や平面の位置関係(平行・垂直・ねじれ)について理解できる 3. 空間における平面図形の移動(平行移動・回転体)により立体ができることを理解できる 4. 立体の投影図について理解できる 5. 立体の展開図について理解できる 6. 立体の表面積と体積を求めることができる
	3月	7章 資料のちらばりと代表値	<ul style="list-style-type: none"> ● 度数の分布 ● 範囲と代表値 ● 累積度数 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 度数の分布に関する語句の意味を理解し、度数分布表・ヒストグラム・相対度数の表から特徴を読み取ることができる 2. 範囲・代表値・平均値等の意味を理解できる 3. 累積度数の意味を理解し、求めることができる

尾鷲市立尾鷲中学校 第1学年「理科」の学習のてびき

1 教科の目標

自然に対する関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

2 評価の観点と内容

	観 点	内 容	評価方法
理 科	自然事象への関心・意欲・態度	自然事象に関心を持ち、意欲的に探究することができる	授業中の態度・発表。ノート・プリントなどの提出・表現。
	科学的な思考	自然事象の中に問題を見だし、科学的論理的に解決できる。	授業（実験・観察）での科学的表現力，定期テストによる評価
	観察・実験の技能・処理	観察・実験の基本操作を習得し、レポート等に表現できる。	実験・観察についてのレポートによる表現、授業での理解、定期テストによる評価
	自然事象についての知識・理解	自然事象について理解し、知識を身につけている。	授業での理解，定期テストによる評価，基本用語に定着

3 学習の方法

<ul style="list-style-type: none"> ○教科書・ノート・資料集の活用（見る、読む、書く、覚える、考える） ○グループ学習（実験・観察・話し合い） ○問題集・ノート（理科ノート）の活用 <ul style="list-style-type: none"> ① 図を自分で書きながら確認 ② ①で確認した内容を基本問題により習得 ○問題集（完全学習）の活用 <ul style="list-style-type: none"> ①基本用語・基本概念の習得、学習内容の確認 ②家庭で問題集（課題）に取り組む。

4 評価について

<ul style="list-style-type: none"> ・授業に、協力して、真面目に、意欲的に学習している ・グループ学習（実験・観察・話し合い）に参加し、役割を十分に果たしている ・理科の基本用語・概念を十分に習得している ・宿題や課題の期限を守り、提出している ・実験や観察に取り組み、その結果をレポートなどに表現することができる ・定期テストで十分な力を発揮している

5 年間計画（1年理科）

時期	単元名	主な学習内容	どのような力をつけるのか（評価観点）
1 学 期	4月 自然の中にあふれる生命	・ルーペの使い方 ・自然観察	・身近な植物や動物に興味を持ち、意欲的に調べようとする ・ルーペを正しく使って観察することができる ・適切な方法で記録観察ができる
	5月 【生命】 いろいろな生物とその共通点	1章 植物の特徴と分類 2章 動物の特徴と分類	・花の各部の名前を理解できる ・花のどの部分が果実や種子になるかを理解できる ・被子植物と裸子植物の花のつくりの違いと共通点を説明することができる ・植物の根や茎のつくりを理解できる ・光合成のしくみを理解できる ・双子葉類・単子葉類について、根・維管束の様子・葉脈 ・花びらの特徴を理解できる ・シダ植物やコケ植物の特徴や胞子をつくり増えることが理解できる
	6月		
	7月 【地球】 活きている地球	1章 身近な大地 2章 ゆれる大地 3章 火をふく大地 4章 語る大地	・地震の揺れの特徴を理解できる ・震度やマグニチュードについて理解できる ・日本付近の震央・震源の分布の特徴を海洋プレートの沈み込みと関連づけて理解できる ・プレートの動きによる大地形の形成を理解できる ・火山噴出物の種類とその特徴を理解できる ・火成岩の特徴について理解できる ・地震の揺れの特徴を理解できる ・地層に含まれる化石から地層が堆積した時代や当時の環境を推論できる ・地層の特徴について理解できる ・たい積岩の特徴をその粒の大きさや成分と関連づけて理解できる
2 学 期	9月		
	10月		
	11月 【物質】 身のまわりの物質	1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質	・ガスバーナーを正しく安全に使うことができる ・金属と非金属の違いについて理解できる ・有機物と無機物の違いについて理解できる ・気体の集め方について理解できる ・酸素や二酸化炭素、窒素等の性質を理解できる ・未知の気体を調べる実験を正しく安全に行うことができる

	月		4章 物質のすがたとその変化	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の結果から調べた気体が何であるか推測することができる ・溶質、溶媒について理解できる ・飽和水溶液や溶解度、結晶や再結晶について理解できる ・状態変化を粒子モデルを通して理解できる ・融点・沸点について理解できる ・蒸留について理解できる
	12月			
3 学 期	1月	光・音・力による現象	<ul style="list-style-type: none"> ・光による現象 ・音による現象 ・力による現象 	<ul style="list-style-type: none"> ・光がはね返るときの規則性を理解する ・光が空気中から水中に進むとき、水中から空気中に進むときの規則性を理解する ・凸レンズによる像のでき方の規則性を理解し、知識を身につける ・音の正体は物体の振動であり、その振動が波として全ての方向に伝わることを理解できる ・振動の仕方と音の関係を理解できる ・力の表し方を理解し、物体にはたらく力を矢印を使って表現することができる ・2力がつり合うための条件を理解できる
	2月			
	3月			

令和5年度音楽学習のすすめかた（第1学年）

尾鷲市立尾鷲中学校

☆音楽の学習で“めざす”こと☆

- 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

☆学習を進めるにあたって☆

使用 教材	教科書 中学校の音楽 1（教育芸術社） 中学校の器楽（教育芸術社）	も ち も の	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ファイル ・ワーク
学 習 の 進 め 方	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題をしっかりととらえ、課題に対して前向きに取り組む。 ○ わからないところやできないところを明確にして、克服する。 ○ 繰り返し練習し、精一杯の努力・工夫をする。 ○ 良いところを伸ばし、苦手とすることにも挑戦する。 ○ 努力したのち、自分の成長したことに自信を持つ。 ○ 音楽を個性豊かに表現することと、集団の中で高め合うことの喜びを感じ取る。 <p>《実技テストや定期テストに備えて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範囲はテスト発表時に通知する。 ○ 歌唱の実技テストは、日々の努力が大切。 		
学 習 上 の 注 意 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ チャイムが鳴るまでに、授業の準備を終え、着席して待つ。 ○ 授業の準備物を忘れない。 ○ 音楽記号や発想記号などをきちんと覚え、表現力を豊かにする。 ○ 歌唱活動は状況を見て行うこととし、歌える時は積極的に声を出して歌う。 ○ 合唱練習時は友達の努力を認め、ともに向上しようという心構えを持つ。 ○ 鑑賞の学習はよく見聴きし、レポートやプリント学習に丁寧に取り組む。 		

☆学習内容および評価について☆

学習計画			評価にあたって		
学期	月	単元計画	評価観点		
			評価の場面・方法		
1 学期	4	オリエンテーション	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○ (知) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ○ (技) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け、歌唱で表現している。 ○ (技) 創意工夫を生かし、全体の音と響きを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱 ・合唱 ・器楽 ・鑑賞 ・定期テスト ・実技テスト
	5	・歌唱活動 校歌、応援歌、「主人は冷たい土の中に」他			
	6	・鑑賞 「魔王」	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて想いや意図を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱 ・合唱 ・器楽 ・鑑賞 ・定期テスト ・実技テスト
	7	・音符やリズムの学習 ・ボディパーカッション ・音階・音符・諸記号 ・期末テスト ・クラス合唱の選曲 ・合唱コンクールへの心構え ・実技テスト			
2 学期	9	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱コンクールの取り組み ・鑑賞 「四季 春 1楽章」 ・期末テスト ・歌唱活動 「赤とんぼ」他 ・実技テスト 	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 曲想と音楽との構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱活動や器楽活動、鑑賞活動に取り組もうとしている。 ○ 授業に臨む態度は、意欲的であり、積極的である。 ○ 課題に対して克服しようと努力している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物、遅刻 ・提出物 ・授業に取り組む様子 ・合唱 ・歌唱 ・器楽 ・鑑賞 ・実技テスト ・定期テスト
	10				
	11				
	12				
3 学期	1	・鑑賞 箏曲「六段の調べ」 ・箏 「さくら さくら」			
	2	・卒業式 式歌 ・和太鼓「尾鷲節」			
	3	・期末テスト ・実技テスト			

尾鷲市立尾鷲中学校 令和5年度 美術科シラバス

学習目標

観察、造形活動に取り組む姿勢を育てる。多様な個性や表現への理解。鑑賞の視野を広げ創造的な「生きる力」を育てる。

学習内容

1年生 レタリング、ポスター、平面構成、木彫

2年生 ポスター、パズル、木彫、鉛筆デッサン

3年生 素描と自画像、タッチステンド、篆刻

夏休み課題、テーマを選んでのポスター制作。(希望者のみ)

評価 観点

- ・美術に関心を持ち、意欲的に取り組み、提出物の期限を守る。
- ・表現力があり創造性に富んでいる。
- ・基礎的な技法や技術を身につけ技能的に優れている。
- ・美術を愛し進んで鑑賞している。

方法

制作の過程の提出物。作品の評価。忘れ物状況。授業態度。鑑賞プリント。感想文

その他

美術では1つの作品を完成させるまでの提出物が多いので提出期日を守らせる。多人数で作業するので安全面に気をつけさせる。準備物、後かたづけをしっかりとらせる。

3年間の学習計画

学 年	学 習 内 容	授 業 時 間
1	・レタリング ・ポスター ・平面構成 ・木彫 ・鉛筆デッサン	45時間
2	・ポスター ・透視図法 ・パズル ・木彫 ・鉛筆デッサン	35時間
3	・自画像(鉛筆デッサン) ・タッチステンド ・篆刻	35時間

美術 1 年シラバス

月	学習活動	月	学習活動
4	オリエンテーション	8	夏休み課題ポスター案内
5	レタリング 基本の明朝体を学習し	9	平面構成 美の秩序と構成を学び、美
6	正確にかけるようにする。明朝体	10	しい形や模様をデザインする。
	を使って、自分のネームプレート	11	(文化祭で展示)
	を制作する。	12	鉛筆デッサン 面で絵を描く。
7	ポスター制作 アイデアを考え、	1	木彫 木の材質を理解しながら、彫刻
	構成し、ポスター制作の手順や着	2	に親しみ制作する。
	彩の仕方を学習する。	3	(2年の文化祭で展示)

美術 2 年シラバス

月	学習活動	月	学習活動
4	ポスター制作 歯のポスターに取り	8	夏休み課題ポスター案内
	組みコンクールに参加する。	9	パズル制作 おもちゃのデザインに
		10	取り組み、工夫をこらしたパズル作り
		11	に挑戦する。
7	透視図法 透視図法について学び	12	木彫 木の材質を理解し、高度な彫り
	その図法を活用し平面作品を作成	1	方に挑戦し作品を制作する。
	する。	2	鉛筆デッサン 鉛筆の材質をいかし、
		3	濃淡で、陰影を使って立体表現する。

美術 3 年シラバス

月	学習活動	月	学習活動
4	素描と自画像 模写等で習得した	9	タッチステンド 色彩や形を考え、自
	技法を使い、15歳の自分の顔を	10	分の思いや夢を取り入れデザインし、
	鉛筆で陰影をもとに立体表現する	11	作品制作する。(文化祭で展示)
	。	12	
7	(文化祭で展示)	1	篆刻
		2	自分の名前を使って印鑑のデザインを
		3	し、篆刻をする。

学習のすすめかた(第1学年 保健体育科)

☆ 保健体育の学習で“めざす”こと ☆

保健体育の学習は、「保健分野」と「体育分野」に分けられます。

【保健分野】

体や心の成長・発育やケガや病気の予防、健康と環境などについて学びます。

【体育分野】

いろいろなスポーツを体験し、それぞれのスポーツに必要な体力や技術を身につけさまざまな知識を学びながら健康な心身をつくることを目指していきます。

保健体育科では、「健康な心身づくり」をテーマとし、これからの生涯を主体的に健康に生きていくために、以下の4つの観点を大切にしながら授業を進めていきたいと思えます。

- ① 積極的に運動に取り組み、健康な体づくりに努めるとともに、仲間と一緒にスポーツを楽しむような体力と技術を身につける。
- ② 健康やスポーツに対する関心を高め、自ら学習していく態度や仲間と共に学習していく態度を養う。
- ③ 個人やチームで効果的な練習方法を工夫したり、ゲームでいかす作戦を考えたりするなど、運動や健康・安全に関する思考力・判断力を身につける。
- ④ 健康や安全に関して必要な知識・理解、仲間とともにスポーツに親しんでいくための知識・理解を深める。

教材	<p><教科書> 保健・・・新 中学保健体育(学研) 体育・・・中学体育実技 (学研)</p>	持ち物	<p>教科書、筆記用具 プリント用ファイル 体育館シューズ(運動靴) 必要に応じて水筒、タオル</p>
学習の進めかた	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分やチームの目標や課題を持って積極的に授業に取り組む。 ○ グループやチームで協力したり、教えあったりすることを大切にする。 ○ ルールや試合方法について理解し、積極的に取り組む。 ○ グループやチームでどうすれば体力や技術が向上するか考えながら練習やゲームに取り組む。 ○ 教師の話や仲間のアドバイスをしっかり聞いて理解する。 ○ 保健では資料や知識を基にして意欲的な態度でいろいろな問題や課題に取り組む。 ○ スポーツ・健康に関する出来事に興味を持ち、ニュースや新聞などにも目を通す。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業中での話をしっかり聞き、いろいろなスポーツのルールや技術のポイント、また、健康・安全に関する知識について、教科書を参考にしながら復習する。 ○ 授業中に配布したプリント(ワークシート)にも目を通す。 		
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> ○ チャイムが鳴る前に、指定の隊形で整列する。 ○ さらに必要な所は念入りにストレッチングをする。 ○ 試合に必要な道具やコート準備・片付けは全員、もしくは保健体育係で行う。 ○ 教師の説明を聞き、授業の流れやポイントを把握する。 ○ 保健の授業では、学習したことをプリント(ワークシート)にまとめ、整理する。 ○ 授業の規律やルールを守るとともに、安全に十分配慮して、取り組む。 ○ ケガや体調がすぐれない場合は、見学などできる範囲で授業に参加する。 		

☆ 学習内容および評価について ☆ (第1学年 保健体育科)

学習計画				評価にあたって	
学期	月	実技	講義	評価観点	評価の場面・方法
一学期	4	オリエンテーション 体づくり運動・体力テスト 集団行動 現代的なリズムのダンス 陸上競技(短距離走・リレー) 球技(バレーボール) 水泳 【期末テスト】	体育理論(スポーツの多様性)	知識・技能 ○ 各種目の運動に必要な基本的な技術を身につけているか。 ○ 身につけた技術を試合や記録会の中でいかしているか。 ○ 個人やチームで設定した目標や記録を達成することができたか。 ○ 運動や健康・安全に関する知識を習得し、授業の場で活かすことができたか。	○ 行動観察 ○ プリント ○ テスト ○ 実技
	5				
	6				
	7				
二学期	9	ダンス(創作ダンス) 【体育祭】 陸上競技(走り高跳び) 球技(ソフトボール) マット運動 陸上競技(長距離走) 【期末テスト】 【持久走大会】	保健(心身の発達と心の健康・健康な生活と病気の予防)	思考・判断・表現 ○ 個人やチームで適切な課題や目標を持って練習や試合に取り組めたか。 ○ 個人やチームで適切な作戦を立てたり、技術を高める練習方法を考えて実践したりすることができたか。 ○ 安全に対する配慮を主体的に行い、運動に参加しているか。健康・安全に関する知識や情報を自分たちの問題として捉え、考えられているか。 ○ 自身や他の課題、練習の目的を考え伝えられる	○ 行動観察 ○ プリント ○ テスト
	10				
	11				
	12				
三学期	1	武道(剣道) 球技(サッカー) 球技(バスケットボール) 【学年末テスト】	主体的に学習に取り組む態度	○ 意欲的な態度で運動にとりくむことができたか。 ○ 自身の課題に対して考え上達するよう工夫できたか。 ○ 授業の中でのルールや規律を守ることができたか。 ○ 準備や片づけに積極的に取り組めたか。 ○ 仲間と協力したり、教えあったりしながら運動に取り組むことができたか。 ○ 保健学習のワークシートに対して意欲的に取り組めたか。 ○ スポーツや健康・安全について興味・関心を持ち、ニュースや新聞等などにも目を通していか。	○ 行動観察 ○ プリント ○ テスト
	2				
	3				

自分を表現し、発信しよう！（第1学年 技術）

☆技術の学習で“めざす”こと☆

◎ 作品を製作したり、コンピュータを活用したりすることによって、生活に必要な基礎的な「知識」・「技術」を習得し、活用しよう。また、自分なりに「技術」を評価し、社会や環境とのかかわりについて考え、実践していこう。

A 「材料と加工に関する技術」

- ・技術の進展と環境の関係を知ろう。
- ・材料の特徴や加工法を知り、工具や機器を安全に使おう。
- ・使用目的や機能を考え、製作図をかこう。
- ・製作では、部品加工や組み立て、調整ができるようにしよう。

C 「生物育成に関する技術」

- ・生物の育成環境を知ろう。
- ・生物の育成計画を立て、栽培をしよう。

B 「エネルギー変換に関する技術」

- ・エネルギー変換方法や基本的な仕組みを知ろう。
- ・製作では、構造や機能を理解し、組み立て、調整をしよう。

D 「情報に関する技術」

- ・コンピュータの基本的な機能を知り操作ができるようになろう。
- ・コンピュータでよく使われる応用ソフトウェアが使えるようになろう。
- ・情報化が社会や生活に及ぼす影響や、コンピュータの役割を考えよう。

☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書「新しい技術・家庭（技術分野）」 東書	持ち物	教科書・ファイル・ワーク
学習のすすめかた	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習課題をしっかりとらえ、頭と体と心をしっかり使う。 ○わからないところ、できないところを明確にして、学習・製作をする。 ○何事も、自分にできる精一杯の工夫をする。 ○自分の良いところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦する。 ○できるようになったこと。自分の成長したことに自信を持つ。 ○作品づくりにおいては、ていねいに製作に取り組む。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭での仕事を積極的に手伝い、生活の知恵を学ぼう。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○範囲は、テスト発表時に通知する。 ○授業中に学習したことをしっかり復習しておく。 ○テスト勉強を進めるために必要なプリントを保存しておく。 		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ○パソコン室や木工室等で授業を行う場合は、チャイムが鳴るまでに教室移動をする。 ○製作においては、目的と方法を理解し、工夫して、ていねいに製作に取り組む。 ○製作においては、ケガをしないように、十分注意する。 ○完成したすべての作品をていねいに、また大切に扱う。 ○パソコン機器をていねいに扱う。 ○木工室の機械・工具を安全に使う。 		

☆学習内容および評価について☆

学 習 計 画			評 価 に あ た っ て		
期	月	単 元 計 画	評 価 観 点	評 価 の 場 面 ・ 方 法	
一 学 期	4	A「材料と加工に関する技術」	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○技術の役割を理解し、ものづくりやコンピュータ等に 必要な知識を身につけている。 ・情報社会のなりたちやコンピュータの基本的なしくみ について理解している。 ・情報社会のモラルや著作権について理解している。 ・各種アプリケーションソフトの基本を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の様子 ・定期テスト ・授業プリント
	5	材料と加工			
	6	○材料と加工法			
	7	1 材料と加工の技術について知ろう			
	7	2 材料の基本的な性質を調べよう			
二 学 期	9	3 製品を丈夫にする工夫を知ろう	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ものづくりやコンピュータの基礎的な技術を身に付け、安全で適切に活用できる。 ・コンピュータの基本操作を理解し、日本語入力ができる。 ・各種アプリケーションソフトの基本操作ができる。 (ワープロ・表計算・プレゼン) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の取り組み ・作品の提出 ・定期テスト ・授業プリント
	10	4 材料に適した加工法を知ろう			
	10	○製作品の設計・製作			
	11	1 製図の書き方を学び、形が表現できるようにしよう。			
	11	2 生活に役立つ製作品を設計しよう 実習 「本立て等の製作」			
三 学 期	12		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○生活と技術について課題解決のために、技術を適切に活用、工夫し創造する。 ・パソコンなどの情報機器を積極的に活用し利用しよう としている。 ・各種アプリケーションソフトの機能を活用し、活かそう としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言 ・作業の様子 ・自己評価 ・作品 ・定期テスト ・授業プリント
	1	D「情報に関する技術」			
	2	1 コンピュータの使い方を身に付けよう 実習 「ワード」の利用 「エクセル」の利用			
	3				

**家庭分野 自立と共生を目指して、衣食住の生活から始まり家庭・地域・社会へと視野を広げる
(1年生)**

◎ 自分から家族、家族から地域・社会へと段階的に視野を広げ、自分や家族のために進んでよりよい生活を工夫していくことをねらいとしている。第1学年から第2学年では、自分の生活を見つめ直し、生活の自立を目指して、内容B・Cを履修させる。その後、関連を図りながら内容Dを履修させる。第3学年では、家族や地域のことを考えて、よりよい生活を創造することを目指して、内容Aを履修させる。選択必修の生活の課題と実践は、第1学年末にエコクッキング、第3学年に余り布を用いた幼児の小物作りを設定して、問題解決的な学習や主体的・対話的で深い学びが繰り返し行えるようにしている。

A「私たちの成長と家族」

- 幼児の発達を知り、家族の役割や地域とのかかわりを考えよう。
- 家庭や家族の基礎的な機能について理解し家族関係をよりよくする方法を考えよう。

B「私たちの食生活」

- 生活の中で食事が果たす役割や健康と食事のかかわりについて考えよう。
- 日常食の調理に関心をもち、いろいろな食品や調理用具を適切に扱い、簡単な日常食の調理ができるようになろう。

C「私たちの衣生活」「私たちの住生活」

- 目的に応じた着用や個性を生かす着用が工夫できるようになろう。
- 衣服材料に応じた日常着の製作や適切な手入れができるようになろう。
- 安全で快適な室内環境の整えかたを知り、よりよい住まい方の工夫ができるようになろう。
- 災害に備えた住まいの安全対策を考えよう。

D「私たちの消費生活と環境」

- 販売方法の特徴や消費者保護について知り生活に必要な物資・サービスの適切な選択・購入および活用ができるようになろう。
- 自分の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活が工夫できるようになろう。

☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書・・・技術・家庭（家庭分野）（東京書籍） ワーク・・・自立と共生をめざして（東京書籍）	もちものファイル
学習の進めかた	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まずは、学習課題をしっかりとらえ、頭と体と心をしっかり使う。 ○ わからないところ、できないところを明確にして、学習・実習をする。 ○ 何事もじっくり考えて、自分にできる精一杯の工夫をする。 ○ 自分の良いところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦する。 ○ できるようになったこと、自分の成長したことに自信を持つ。 ○ 作品づくり及び調理実習においては、安全面に気をつけて、積極的に取り組む。 ○ 習ったことを生活に取り入れ、生かしていくようにする。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭で、“衣食住・家族”にかかわる仕事を手伝うこと。 ※特に夏休み等の長期の休みに、家庭生活にかかわる内容について調べたり、家族の一員として仕事をやってみたりしよう。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範囲は、テスト発表時に通知する。 ○ 授業中に学習したことをしっかり復習しておく。 	
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 忘れ物がないように注意しよう。 ○ 調理室や被服室で授業を行う場合は、チャイムが鳴るまでに教室移動をする。 ○ 実習においては、目的と方法を理解し工夫して、取り組む。 ○ 実習においては、ケガをしないように十分注意する。 ○ 班員で仕事を分担し、能率よく協力して作業を行うこと。 	

学 習 計 画				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	単 元	評 価 観 点	評 価 の 方 法	
一 学 期	4	オリエンテーション	期 末	知 識 ・ 技 能	<ul style="list-style-type: none"> ○食事の役割や中学生の栄養の特徴を理解し発表できたか。 ○中学生に必要な栄養を満たす食事についての知識を生かし献立作成ができたか。 ○食品の選択について理解し実践できたか。 ○持続可能な食生活についての知識を生かした調理の実践ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 プリント記入状況 ワーク記入状況 定期テスト 知識や技能を
	5	私たちの食生活				
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割と中学生の栄養の特徴 ・中学生に必要な栄養 ・食品の保存と食中毒の防止 				
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・お弁当の献立作成 ・食品の選択と購入 ・生鮮食品の特徴 ・加工食品の特徴 				
	9	・バランスの良い献立作り				
	10	・日常食の調理				
	11	・肉の調理				
二 学 期	12	・野菜の調理	期 末	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○食事点検などから課題を見つけ、その解決をめざして食事の取り方などについて考え、工夫することができたか。 ○魚、肉、野菜のそれぞれの特徴を生かした調理を工夫することができたか。 ○調理の手順や時間を考慮して、能率のよい作業を工夫することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 プリント記入状況 ワーク記入状況 定期テスト
	9	・魚の調理				
	10					
	11					
三 学 期	1	・日本の食文化と和食の調理	学 年 末	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な食品に関心をもち、調べよいものを見分けることができたか。 ○中学生の1日分の献立を考えることができたか。 ○基本的な調理操作ができたか。 ○持続可能な食生活について自ら学ぼうという 	<ul style="list-style-type: none"> 実習観察 プリント記入状況 ワーク記入状況 定期テスト
	2	・持続可能な食生活を目標して				
	3	・食品成分表				
		・学習のまとめ				

尾鷲市立尾鷲中学校 第1学年英語科の学習の手引き

1. 学習の目標

英語に対する興味・関心を引き出し、異なる言語や文化に触れることによって、積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を身につける。

- ① 英語学習に慣れ、意欲的に学習に取り組むことができる。
- ② 自然な英語の発音を身につけ、積極的にコミュニケーションをとることができる。
- ③ 自分のことや家族の事柄について表現できる。
- ④ 日常生活における簡単な内容の会話を聞き、理解することができる。
- ⑤ 簡単な英語の読み物を読めたり、理解することができる。

2. 評価の観点・方法

評価の観点・方法	内容	評価方法
知識・技能・	[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	定期テスト・ワークシートへの取り組み・授業中の発言・課題への取り組み、パフォーマンステストの内容等
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	定期テスト・授業中の発言・ワークシートへの取り組み・パフォーマンステストへの取り組み等
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて聞こうとしている。	ワークシートへの取り組み方において、自らの学習方法を調整しようとしているか。 また、課題に対して粘り強く取り組もうとしているかを授業中に評価を行う

3. 学習の方法

○予習をする。

- ・新出単語を確認しておく。
- ・本文の内容を読んでおく。

○授業を大切にす。

- ・指導者の話（英語での説明）をしっかりと聞く。
- ・新しい文法や文型、重要な語句や連語はワークシートにまとめる。
- ・音読はしっかり声を出して発音し、コミュニケーション活動には積極的に参加する。

○復習をする。

- ・ワークブックやワークシートなどを利用して、新出構文をしっかりと復習をする。
- ・新しい単語の読み・書きの練習をする。

4. 評価について

- ・ノート、ワークシートをしっかりとまとめておく。
- ・提出物は期限内に提出する。
- ・あきらめず粘り強く取り組む姿勢を評価する。
- ・観点別のテストの実施による評価をする。

5. 年間計画

学期	月	単元・題材	主な学習内容	観点別評価具体例
1 学 期	4	オリエンテーション	・授業での約束(規律ある態度、約束やきまりを守る)	授業での約束を守って学習に取り組むことができる。
		小学校で学んだこと (アルファベット、 月や曜日、教科)	アルファベット、月、日、曜日、習い事について聞いたり話したりする。	アルファベットを正しく読めるようになる。 アルファベットを正しく書けるようになる。 月や曜日、教科などを理解し、発音できるようになる。
		Starter Lesson 1 About me Part 1 Part 2 Part 3	・I am / You are / I play / You like / Are you? / Do you play? I am not / I do not play を使った表現	be 動詞や一般動詞の違いを理解し、意味や働きを理解している。be 動詞や一般動詞を使い、自己紹介をすることができる。また、人に尋ねたいことを考えて、質問することができる。 ・I play~/ / Do you~/? などの一般動詞の肯定文・疑問文・否定文の表現を理解し、使うことができる。
	5	Get Plus 1 どんな食べ物が好きですか 文法のまとめ 1	・What food? を使った表現	・好きなものや好きなことについて説明することができる。 ・what を使った疑問文を使うことができる。
		Lesson 2 English Camp Part 1 Part 2	・I can / I cannot を使った表現 ・Can you ? を使った表現	・助動詞 can を理解し、使うことができる。 ・Can you を使って、相手になにができるか質問することができる。
		Get Puls2 文法のまとめ 2	・How many を使った表現	・How many ~? で物の数を聞くことができる。
	6	Listen 3 Our New Friend Part 1 Part 2 Part 3	・This is / This is not / Is this ? What is ? I like him(her) / Who is? を使った表現	・This/That is~/ /What is this? / She/ He is ~. などの表現を理解し、使うことができる。 ・Who を使って、質問することができる。
		Take 1 商品の説明 Action 1 ねえ、聞いて! 文法のまとめ 3 Reading for Information 1 文房具のチラシ	○お店での商品説明を聞いて、自分が必要とする情報を聞き取る。 ○自分や相手の持ち物について対話する。 ○文房具のチラシを見て、自分が必	・お店での商品説明を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。 ・チラシを見て、必要とする情報を読み取ることがで

2 学 期	7	Project! 理想のロボットを 発表しよう。	要とする情報を読み取る。 ○理想のロボットができることなど を考え、原稿を書いて発表する。	きる。 ・自分が理想とするロボットについて、考えまとめる ことができる。	
		For Self-study 2 和英・英和辞書を活用しよ う			
	9	Lesson 4 My family, My hometown GET Part 1 GET Part 2 USE Read USE write USE Speak Take Action! GET Plus 3 文法のまとめ 4	・Miki plays (三人称単数) 現在形を使った表現 Does Miki play? Miki does not play. を使った表現 ○イギリスの都市について書かれた 記事を読んで、その概要を把握する。 ○放課後の予定について対話する。 ・Which?を使った表現	・3人称単数現在形を理解し、使うことができる。 ・質問をして、わかったことについて伝えることができる。 ・イギリスの都市について書かれた記事を読んで、そ の内容を把握することができる。 ・放課後の予定について、質問しながら対話するこ とができる。 ・Whichを使った質問をすることができる。	
		10	Lesson 5 School life in the U.S.A. GET Part 1 GET Part 2 USE Read USE Write	・Tom is studying. Is Tom studying? (現在進行形)を使っ た表現 ○アメリカの友達から送られて きたメールを読んで、その概要を 把握する。	・現在進行形を理解し、使うことができる。 ・アメリカから送られてきたメールを読んで、その内 容を理解することができる。 ・アメリカの友達に、日本の学校生活や行事を紹介す ることができる。
			Take Action! Listen 3 Take Action! Talk 3 GET Plus 3 文法のまとめ 5	○買い物に訪れたお店で店員と 対話する。 ・Whose?を使った表現	・買い物の場面で、店員と対話することができる。 ・Whose?を使って質問することができる。
		Lesson 6 Discover Japan GET Part 1 GET Part 2 USE Read USE Write Take Action! Listen 4 Take Action! Talk 4 文法のまとめ 6 Reading for Information 2 観光マップ Project 2 英語のタウンガイドを作ろう	・Amy enjoyed / Amy went (過 去形)を使った表現 ・Did Amy enjoy? / Amy did not enjoy を使った表現 ○日本を旅行した感想が書かれ たブログ記事を読んで、その概要 を把握する。 ○観光マップを読んで、自分が必 要とする情報を聞き取る。 ○町や地域のおすすめの場所を 調べて、その魅力などを紹介する タウンガイドを作る。	・一般動詞の過去形を理解し、使うことができる。 ・過去形の疑問文を使って、質問することができる。 ・日本を旅行した感想が書かれたブログを読んで、内容 を理解することができる。 ・スキットで道案内をすることができる。 ・観光マップを読んで、情報を聞き取ることができる。 ・地域のおすすめの場所を紹介するタウンガイドを 作るすることができる。	

3 学 期	11	Lesson 7 Wheelchair Basketball GET Part 1 GET Part 2 USE Read USE Speak Take Action! Listen 5 Take Action! Talk 5 GET Plus5 文法のまとめ 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ My father was / My parents Were (be 動詞の過去形) を使った表現 ・ I was watching (過去進行形) を使った表現 ○車いすバスケットボール選手が書いた自伝の記事を読んで、その概要を把握する。 ・ You look (～そうに見える) を使った表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・ be 動詞の過去形の肯定文の特徴やきまりに関する事項を理解できる。 ・ 過去進行形を正しく使い、理解することができる。 ・ 車いすバスケットボール選手が書いた自伝の記事を読んで、その概要を把握する。 ・ You look を使った表現を理解することができる。 	
		12	Lesson 8 Green Festival GET Part 1 GET Part 2 USE Read USE Write	<ul style="list-style-type: none"> ・ It will be / Will it be / It will not be (未来系) を使った表現 ・ I am going to / Are you going to ? (未来系) を使った表現 ○環境イベントで配布されたパンフレットの記事を読んで、その概要を把握する。 ○環境を守るためにできることを考え、具体例を示しながらマニフェストを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未来形 (will) の肯定文・疑問文・否定文の特徴やきまりに関する事項を理解できる。 ・ 未来形 (be going to) の肯定文・疑問文を使って表現することができる。 ・ 環境イベントの配布されたパンフレットの記事を読んで、その内容を理解することができる。
	1	2	Take Action! Listen 6 Take Action! Talk 6 GET Plus 6 文法のまとめ 8 Project 3 大切なものを紹介しよう	<ul style="list-style-type: none"> ○天気予報を聞いて、自分が必要とする表現を聞き取る。 ○人物の描写をしながら対話する。 ・ Can you? を使った表現 ○大切にしているものの写真や絵を見せながら、手に入れた経緯や大切にしている理由を加えて発表する。 ○アリスの物語を楽しみながら読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Can you ? を使って、お願いすることができる。 ・ 聞き手に効果的に伝わるように、大切にしているものについての文を書き、Show&Tell で紹介することができる。 ・ アリスの物語を、音声に注意して読むことができる。
			3	Reading for Fun	○アリスの物語を楽しみながら読む。

